

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業所 管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
II-1-(4)-① 危機管理 対応能力の 向上	1	⑪ ⑰	防災訓練の実 施	危機管 理課	風水害、地震等 の大規模災害時 における防災体制 について万全を期 すため、災害に対 する各種訓練を実 施する。	防災訓練参加人 数	2,738人 (H26年 度)	目標 3,000 人	実績 18,750 人	達成率 625.0 %	3,000人 (毎年 度)	継続	10,906	10,818	維持	11,050	大変 順調	各区の災害特性に応じた訓 練を実施するほか、危機管理 能力を向上させるため、近年 の災害事例や過去の訓練の課 題等を踏まえ、多様な防災訓 練を継続して実施する。 市の防災訓練の認知度や、 災害に対する備えの大切さな ど、行政評価のアンケート結 果から得られた意見や、令和 2年度の訓練結果等をもとに 訓練内容等の見直しを行う。	大変 順調	災害時の防災活動の円滑な 実施を図るため、市民、防災 関係機関、各種団体及び民間 企業等、多様な主体と連携し た防災訓練を実施する。 また、訓練実施後には、分 析・検証を行い、地域防災計 画や防災業務計画等の運用に 積極的に反映させるよう努め る。
II-1-(4)-② 災害に関 する情報提 供と自助、 共助の意 識づくり	2	⑪ ⑰	みんな de Bousai まち づくり推進事 業	危機管 理課	過去の大規模災 害では、自助・共 助の力を向上させ ることが「減災」 対策を推進する上 でも必要不可欠で あることが証明さ れた。 また、「北九州 市地域防災計画見 直し検討会」の中 でも、地域コミュニ ティが持つ防災力 ＝「地域防災力」 の重要性が指 摘された。 これらのことか ら、市民が自ら 「命を守りぬく」 ことができる自 助・共助の力を向 上させるととも に、地域防災力の 育成及び活性化を 推進する。	地域ぐるみの防 災ネットワーク を構築した校区 数 ※指標廃止	4校区 (H26年 度)	目標 10 校区	実績 6 校区	達成率 60.0 %	10校区 (毎年 度)	継続	13,000	12,306	減額	8,050	順調	「地区Bousai 会議運営支援 事業」の実施単位を固定せず に柔軟に支援することで、地 域の特性を生かした計画の策 定を目指す。 また、令和元年度「行政評 価に活用するための市民アン ケート」にある防災知識の認 知度や各家庭における災害に 対する備えの結果を活用して 事業内容などの見直しを行 う。 【指標廃止・追加の理由】 令和元年度までは、小学校 区単位を基本として、地区防 災計画の策定と地区Bousai 会 議の運営支援を行ってきた。 しかし、実施範囲を校区単位 に限定すると、校区によって は、ハザード地域の偏りが大 きく、統一した計画作りを行 うことが困難なケースが散見 された。そのため、校区単位 での事業実施を継続しつつ、 より小さな単位（マンショ ン、町内会等）での地区防災 計画の策定を目指すこととし た。 小規模単位（地域）は小学 校区よりも対象地域が多いた め、策定目標数を10校区（毎 年度）から15地区（校区＋地 域）に変更する。	順調	「みんな de Bousai まちづ くり推進事業」の取組みを継 続して実施し、新たにSDGsと 連携した地域防災力の向上に 取り組む。 具体的には、「SDGs」と 「防災」の関わりを明確に し、SDGsに取り組む企業を巻き 込んだ事業の推進を行って いく。
					地域防災の新た な担い手を育成 した人数	67人 (H26年 度)	目標 60 人	実績 100 人	達成率 166.7 %	60人 (毎年 度)	継続									
					地域コミュニ ティが主体とな って取組み、 作成した地区防 災計画策定数 (校区単位＋地 域単位＝地区単 位) ※指標追加	4地区 (H26年 度)	目標 15 地区	実績 15地区 (R3年度 以降毎年 度)	達成率											